



iCROWN

感染症臨床研究ネットワーク事業

厚生労働省委託事業

iCROWN事業のご紹介

Infectious Disease Clinical Research NetwOrk
With National Repository

感染症臨床研究ネットワーク事業



ひと、くらし、みらいのために

厚生労働省

Ministry of Health, Labour and Welfare



JIHS

国立健康危機管理研究機構

背景・目的

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行初期においては、一類・二類感染症患者等の入院診療を行う「感染症指定医療機関」を中心に対応が行われました。一方で、COVID-19患者の入院先が必ずしも臨床研究の実施機関とならず、臨床試験の実施に困難が生じたという課題がありました。また、ワクチンや治療薬の開発に対する平時からの産官学連携での取り組み等が十分ではなかった結果、国産ワクチンや治療薬の実用化に海外よりも時間を要することになりました。

これらの課題に対して、感染症の科学的知見の創出や医薬品等の研究開発を行うために、令和3年度に新興・再興感染症データベース事業ナショナル・リポジトリ（REBIND）が、令和6年度からはREBINDを発展的に拡張する形で感染症臨床研究ネットワーク iCROWN（Infectious Disease Clinical Research Network With National Repository）が構築され、医療機関や自治体等と連携し、多施設で感染症の臨床研究を実施できる体制を整えてきました。

令和7年度からは、事業としてのREBINDは終了し、iCROWN事業に包括される形でリポジトリを継続します。日本中のどこで有事が発生しても感染症の発生状況やその影響を速やかに把握し、対策を講じることができるように、各都道府県に1つの研究実施機関が参加することを目指し、研究推進機関・準研究実施機関の協力も得ながら、臨床研究をさらに推進できる体制を整えていきます。

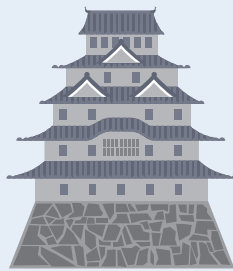
令和3年度～



新興・再興感染症 データベース事業 ナショナル・リポジトリ (REBIND)

- 参加医療機関から検体試料、臨床情報等（以下、「試料・データ」）を前向きに収集・保管（リポジトリ）
- 利活用を希望する研究者等に提供
- 対象感染症は当初、COVID-19のみであったが、その後原因不明小児肝炎、エムボックスも追加

令和6年度

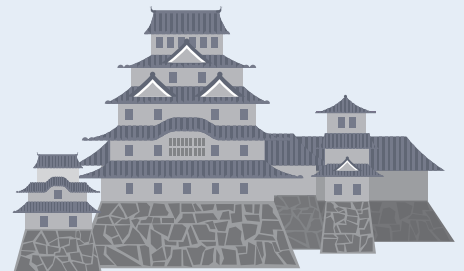


感染症臨床研究ネットワーク事業 (iCROWN)

REBINDは内包

- REBINDを発展的に拡張する形で、「感染症臨床研究ネットワーク事業」を開始
- これまでREBINDで行ってきたことに加え、
 - ① 平時より医療機関や自治体等と連携し、
 - ② 多施設で感染症の臨床研究を実施できる体制を整備
- 研究実施機関は、全国で14医療機関（特定・第一種感染症指定医療機関）
- 対象感染症は、SARI（COVID-19を含む）、エムボックス、原因不明小児肝炎、入国時感染症ゲノムサーベイランスの対象感染症

令和7年度



感染症臨床研究ネットワーク事業 (iCROWN)

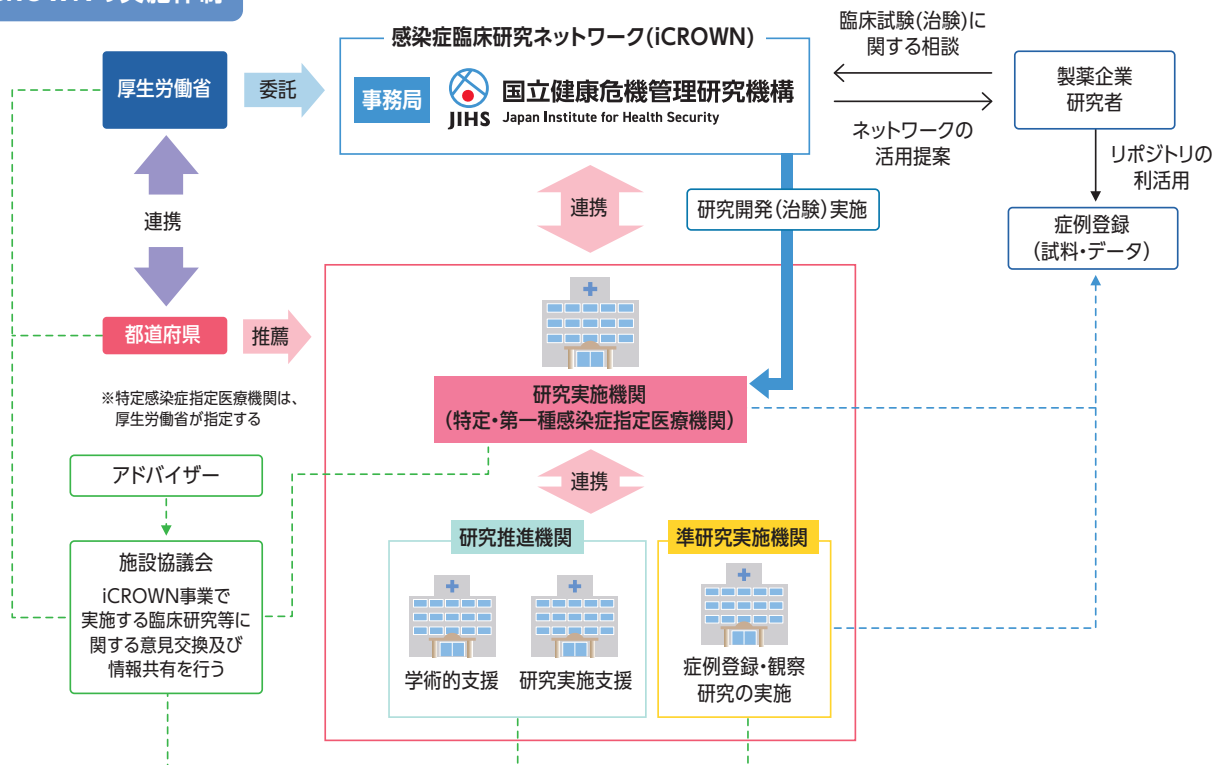
リポジトリ機能を維持
（事業としてのREBINDは終了）

- 研究実施機関は、4つの特定感染症指定医療機関+各都道府県に1つの第一種感染症指定医療機関を目指す
- 研究推進機関、準研究実施機関の協力も得る
- 試料・データを提供し保管するためのリポジトリを維持
- 対象感染症は、さらに増加予定

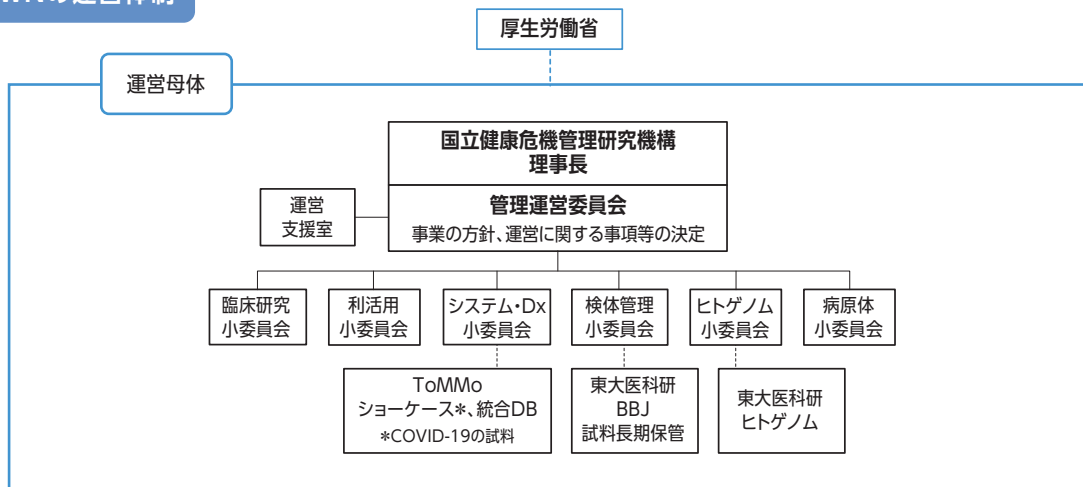
事業概要

- 感染症に関する医薬品の研究開発に協力可能な医療機関（感染症指定医療機関等）とネットワークを構築します。
- 感染症危機時の研究開発の課題を網羅的に同定し、共有します。
- 感染症の臨床研究に関する諸活動を統合的に運用します。
- 感染症危機発生時に迅速に対応できる研究開発体制を構築します。
- 参加医療機関からリポジトリに収集された一部の試料・データを、利活用を希望する製薬企業・研究者に提供します。

iCROWNの実施体制



iCROWNの運営体制

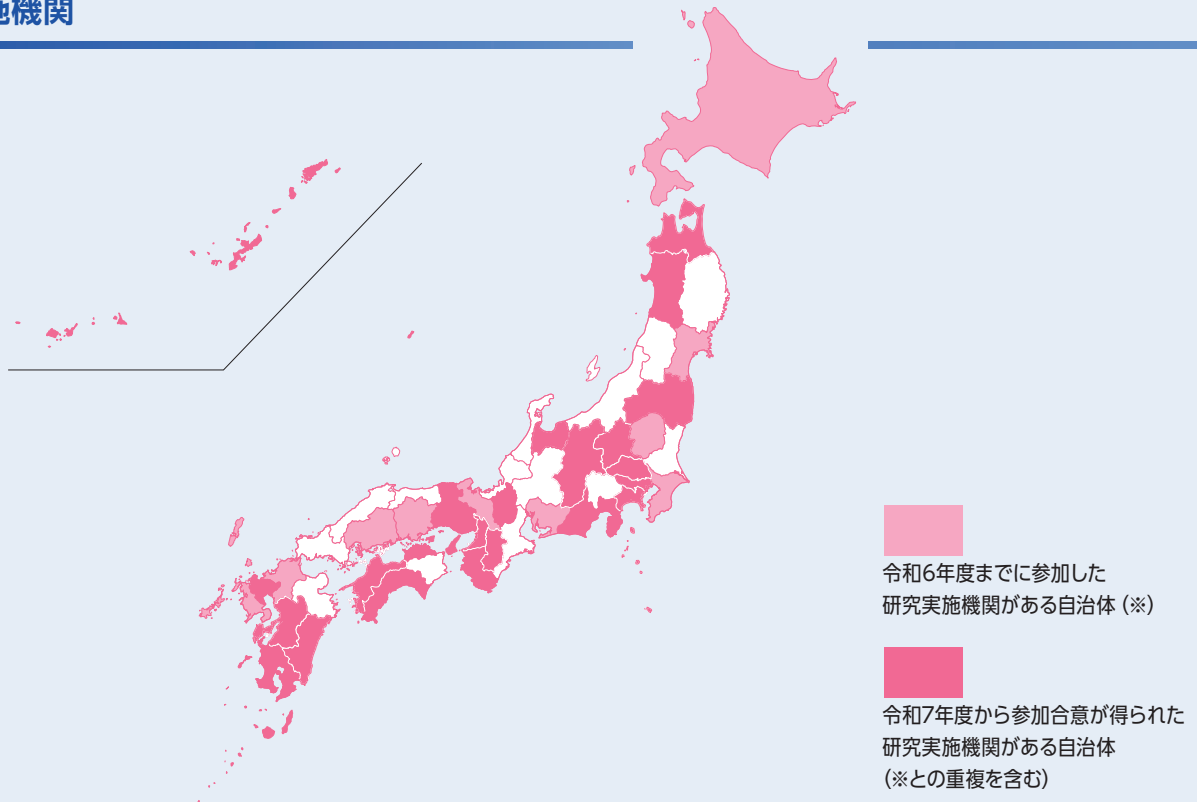


国立健康危機管理研究機構（JIHS）は令和7年度に国立国際医療研究センターと国立感染症研究所が統合して設立されました。
iCROWN事業はJIHSが厚生労働省より受託し、運営を担います。

iCROWNに参加または参加に合意している医療機関（令和7年3月現在）

令和6年度は特定・第一種感染症指定医療機関14施設の参加を得て、感染症臨床研究ネットワークを構築してきました。令和7年度はさらに下記の研究実施機関、研究推進機関、準研究実施機関の参加合意を得て、感染症臨床研究ネットワークを拡大する予定です。（許可をいただけた医療機関のみ掲載し、法人名・機構名は省略しております。）

研究実施機関



自治体名	令和6年度までに参加した研究実施機関
北海道	市立札幌病院
宮城県	東北大学病院
栃木県	自治医科大学附属病院
千葉県	国際医療福祉大学成田病院 【特】成田赤十字病院
東京都	【特】国立国際医療センター
愛知県	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 【特】常滑市民病院
京都府	京都府立医科大学附属病院
大阪府	【特】りんくう総合医療センター
岡山県	岡山大学病院
広島県	広島大学病院
福岡県	福岡東医療センター
長崎県	長崎大学病院

自治体名	令和7年度から参加合意が得られた研究実施機関	自治体名	令和7年度から参加合意が得られた研究実施機関
秋田県	秋田大学医学部附属病院	大阪府	大阪市立総合医療センター
福島県	福島県立医科大学附属病院	兵庫県	神戸市立医療センター中央市民病院
埼玉県	埼玉医科大学病院	奈良県	奈良県立医科大学附属病院
東京都	東京都立駒込病院	愛媛県	愛媛大学医学部附属病院
神奈川県	横浜市民市民病院	佐賀県	佐賀県医療センター好生館
長野県	長野県立信州医療センター	宮崎県	宮崎県立宮崎病院
富山県	富山県立中央病院	鹿児島県	鹿児島大学病院
静岡県	静岡市立静岡病院	沖縄県	琉球大学病院
滋賀県	市立大津市民病院		

無印：第一種感染症指定医療機関 【特】：特定感染症指定医療機関

研究推進機関

令和7年度から参加合意が得られた研究推進機関		
北海道大学病院	国立がん研究センター中央病院	藤田医科大学病院
国立がん研究センター東病院	順天堂大学医学部附属順天堂医院	大阪大学医学部附属病院
慶應義塾大学病院	名古屋大学医学部附属病院	九州大学病院

準研究実施機関

準研究実施機関の参加につきましては、調整中です。

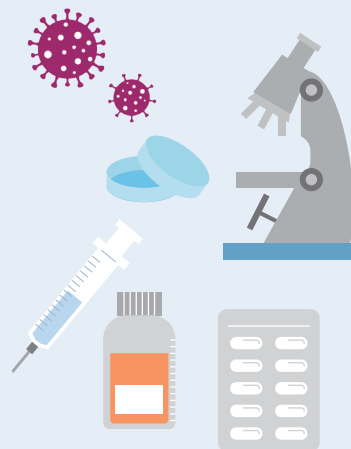
主な活動

①Clinical Studies (臨床研究)

有事の際、迅速に臨床研究を推進するためには平時のうちからネットワークを稼働させておく必要があります。iCROWNでは平時のうちにネットワークの課題や問題点を把握するため、年度を通じて複数施設間での臨床研究を推進し、“いざという時”に備えています。

【令和6年度の実績】

- 高病原性病原体の暴露後予防薬、治療薬に関する国内承認薬の科学的知見（令和6年度 感染症危機管理に係る体制整備に資する研究）
- 重症呼吸器感染症（SARI）に関する異なる収集部位における相関関係評価研究
- インフルエンザに対するT-705注射剤（ファビピラビル）のオセルタミビル併用下における有効性と安全性を探索するための第Ⅱ相医師主導治験



②Communication (関係構築)

iCROWNでは研究者同士の“顔の見える関係”を重視しています。関係者同士が対面で接点を持ち、人材交流や意見交換等が可能な場を定期的に企画しています。

【令和6年度の実績】

- 施設協議会（24医療機関、10自治体の参加）



③Input (知の研鑽)

iCROWNには多くの施設（研究者）が参画しています。より高度、かつ先進的な臨床研究に対応すべく、研究者同士の“学びの機会”の提供にも注力しています。

【令和6年度の実績】

- 研究実施機関向け研修会（9施設の参加）



④Information (情報発信)

iCROWNで得られた成果を広く情報発信することにより我が国の国益に繋がると考えています。研究者のみではなく、国民の皆様への情報展開にも注力していきます。

【令和6年度の実績】

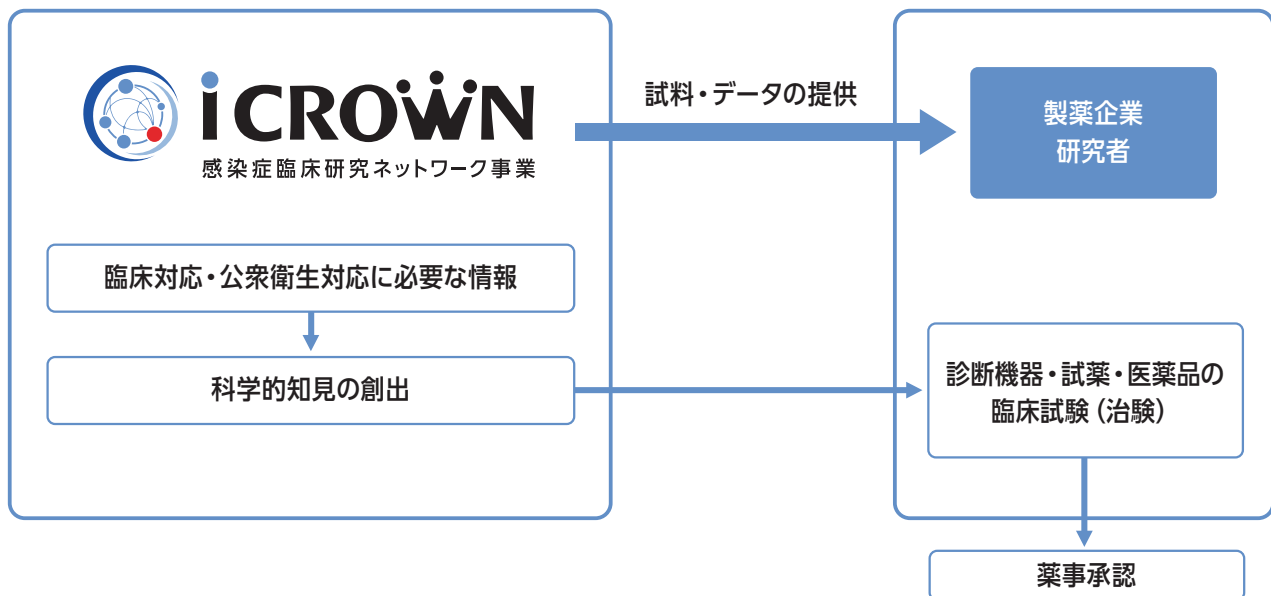
- 感染症臨床ネットワーク事業シンポジウム（令和7年2月14日）
健康危機下の医薬品開発を進めるために
～コロナ禍の学び：プラセボ対照二重盲検比較試験を取り巻く課題～



感染症危機発生時に期待される効果

今後の新たなパンデミック時には、構築された臨床研究ネットワークを速やかに稼働させることにより、臨床対応と公衆衛生対応に必要な情報を得て科学的知見が創出されることが期待されます。また、利活用を希望する製薬企業・研究者への試料・データの提供を行うことにより、国内で迅速に診断機器及び試薬・医薬品の臨床試験（治験）を立ち上げ、薬事承認が実現すると予想されます。

感染症危機発生時におけるiCROWNの役割（イメージ）



ウェブサイト

iCROWNでは、事業概要、Q&Aなどを公開しています。随時、最新情報をアップデートする予定です。

icrown jihs

検索

お問い合わせ先

iCROWN全般に関するお問い合わせ

JIHS iCROWN運営支援室

メールアドレス

icrown@jihs.go.jp

iCROWNの利活用に関するお問い合わせ

JIHS iCROWN利活用窓口

メールアドレス

icrown-rikatsuyo@jihs.go.jp